

第3章 第2次計画における施策の方向と具体的な取組

1 誰もが等しく学べる、豊かな資料と機能を持つ図書館

(1) 市民の日常生活、学習活動に寄与する、質・量ともに充実した資料を持つ図書館

課題

「防府市立防府図書館資料収集要綱」に基づき、質・量ともに充実した資料を継続的に収集する必要があります。さらに、図書館サービスを充実させるために、常に資料の更新をしながら、魅力的な蔵書の維持に努めることが大切です。

取組の方向性

- 「防府市立防府図書館資料収集要綱」に基づく適正な選書・収集と質・量両面の更なる充実に努めます。
- 多様化する利用者ニーズに応えるために、課題解決型資料提供サービスと電子書籍(注16)を含む資料提供サービスに努めます。
- 幅広い分野の資料を収集し、利用者が求める資料の提供を行います。

主な取組

- ★ 課題解決型資料提供サービスの展開（ビジネス支援、行政支援、医療健康情報案内、生活情報案内、育児支援など）
- ★ 電子書籍の普及に伴う資料提供サービスの変化への対応
- ★ 変化する利用者ニーズを反映する予約・リクエストサービスの整備

(注16) **電子書籍**：編集から出版までをコンピュータで管理し、CD-ROMやコンピュータ可読ファイルで出版・配布する書籍。利用者は、パソコンなどを使用してディスプレイに表示したり、必要な部分だけをプリントアウトしたりすることができる。

(2) 老若男女を問わず、様々な立場の人が、誰でも気軽に楽しく利用できる 図書館

課題

図書館は、市民の生活に役立つ施設であると知ってもらうための効果的な情報発信の方法として、対象者や対象年齢を考慮に入れながら、広報の内容を更に工夫し、幅広い年代へ広く周知を図ることが大切です。市広報やホームページを活用した広報の更なる充実を図るだけでなく、図書館未利用者が図書館を利用するきっかけ作りとして、SNS(注17)の利用などの新たなツールを活用する必要があります。

また、インターネットやスマートフォンの普及に伴う情報収集の多様化等による、図書館の入館者数減少に歯止めをかける必要があります。それには、図書館員の更なるスキルアップを図り、利用者一人一人に対して、きめ細やかなサービスを提供することが重要です。

さらに、多様な目的で来館する利用者に快適な環境を提供するために、図書館では、定期的な消毒や職員による見回り等を引き続き行うことで、施設の安心・安全な維持・管理に努める必要があります。平成18年に竣工し、開館から14年以上経過したルルサス防府の建物と施設の経年劣化に注意を払いながら、設備のメンテナンスを行っていく必要性が高まっています。

取組の方向性

- 幅広い市民への利用促進を図るために、既存の広報を強化するだけでなく、様々な広報手段を利用しながら、図書館サービスの周知に努めます。
- 誰もがいつでも安心して図書館を利用できるように、個人情報の保護を徹底します。
- 気持ちの良い接客を心掛け、利用者ニーズを的確につかむことのできる職員の育成と、機械を使用した情報収集だけでは出会えない図書館の付加価値を利用者に提供できるよう取り組みます。
- 図書館内の定期的な消毒と巡回等による防犯に努め、施設維持管理及び危機管理体制を強化します。

(注17) SNS：ソーシャル・ネットワーキング・サービス。インターネット上の会員制サービスの一種。友人・知人間のコミュニケーションを円滑にする手段や、新たな人間関係を構築する場を提供する。企業や政府機関でも情報発信などに活用される。

主な取組

- ★ 年齢別サービスの強化推進
- ★ 「ほうふ図書館だより」「としょかんこどもしんぶん」「新刊紹介」「図書館年報」等定期刊行物の内容充実
- ★ 「図書館利用案内」等のリーフレット、パンフレット、行事案内チラシ、ポスターなどの内容充実
- ★ ホームページの内容充実
- ★ 市広報「ほうふ」の活用推進
- ★ 報道資料作成による、マスコミ活用広報活動の展開
- ★ 図書館まつり、子ども読書フェスティバルの内容充実
- ★ 利用記録(読書履歴、複写履歴等)の秘密厳守と基本的人権やプライバシー保護の徹底
- ★ 安全管理・危機管理体制の日常的整備と強化
- ★ 接遇コミュニケーション能力の高い図書館員の育成と研修(他人への思いやり、優しさ、親切、謙虚さ、明るさ、笑顔が態度で示せる職員の育成)

(3) 図書館から遠い所に住んでいる人にも、サービスできる図書館

課題

移動図書館車の巡回コースやステーションの利用状況に応じて、ステーションやコースの見直しをしていくことが求められています。

また、依頼のあったイベントに出掛ける出張サービスは、多くの市民に「おはなし会」の楽しさや移動図書館車の存在が認知される好機ですが、更にその後の図書館利用につながる仕組みが必要です。

さらに、移動図書館車や市内公民館に設置している地域文庫では、本の貸出・返却及びリクエストが可能であるといった、本館に来館しなくても図書が受取れる仕組みを広報する必要があります。

取組の方向性

- 移動図書館車「わっしょい文庫」の周知を強化します。
- 図書館が身近に感じられるよう始まった出張サービスにより、子どもから大人までの幅広い市民と本の距離を縮めます。
- 図書館から遠距離に居住する方、交通手段のない方にも移動図書館車や地域文庫の利用により、図書館の図書が借りられる仕組みを周知し、利用を促します。

主な取組

- ★ 移動図書館車「わっしょい文庫」運行サービスの充実
- ★ 出張サービス(「出前おはなし会」「わっしょい文庫」)の周知と活用促進
- ★ 「地域文庫」、団体貸出(「貸出文庫」「読書会文庫」)の充実と周知

(4) 調査・研究・読書相談などに、的確に対応できる図書館

課題

図書館職員が、利用者のニーズを的確に把握し、高度なレファレンスに対応するには、蔵書構成等の専門的な知識を持つことが必要です。それと同時に、国立国会図書館をはじめとする、他の図書館や関係諸機関との協力体制を構築する必要があります。

図書館ではインターネットの普及により利用者が自ら情報を探す機会も増えているため、情報の入手を支援するための機器の整備・提供が求められています。

取組の方向性

- 利用者の質問に気軽に応じることのできるフロアワークに努め、専門的な質問にも対応できるよう職員の研修を強化します。
- 読書案内等の作成や掲示の工夫に取り組みます。
- 行政各部署や他の関係機関との連携による資料・情報提供サービスの更なる強化に努めます。
- 情報提供サービスの一環である、利用者の求める情報収集機器の整備・提供を適切に行います。

主な取組

- ★ レファレンスサービス充実のための職員研修の強化
- ★ レファレンス事例集の作成と公開
- ★ 関係諸機関への紹介業務の強化
- ★ 読書案内・読書相談サービスの強化
- ★ 新着図書案内やテーマ(件名)別ブックリスト、パスファインダーの作成と内容充実
- ★ 利用者とのコミュニケーションを図るフロアワークの強化
- ★ 資料検索システム、Web目録等の内容整備
- ★ カレントアウェアネスサービス(注18)の充実
- ★ 利用者開放インターネットサービスの充実

(注18)カレントアウェアネスサービス(current awareness service)：現時点における最新情報を、オンライン情報検索システム等により検索し、利用者に提供するサービス。

2 地域の人々と手を携えて、豊かな交流の場を創る図書館

(1) 様々な図書館事業を利用者と協働して行い、学習交流の場、コミュニティセンターとしての機能を持つ図書館

課題

多くの利用者が参加する「防府市子ども読書フェスティバル」と「防府図書館まつり」は、長年続いている図書館の代表的な行事です。今後も引き続きボランティアや民間団体とも協働し、様々な集客力のある企画を用意するなど、参加者数を増やしていくことが課題です。

取組の方向性

- 図書館行事への市民参画を推進します。
- 図書館とボランティアや民間団体との協働を強化します。

主な取組

- ★ 防府市子ども読書フェスティバルの内容の充実
- ★ 防府図書館まつりの内容の充実
- ★ 新たな協働事業の展開

(2) 学習ボランティアや、障害のある利用者のためのボランティアが、いきいきと楽しく活動できる図書館

課題

今後、図書館ではボランティアの高齢化による人材不足が懸念されています。そこでアクティブ・シニア(注19)の活用や若者の育成を推進し、新たなボランティアとして参加・活動できる環境整備が必要です。

また、今後も様々な内容に取り組んでいる図書館ボランティアの活動の支援のため、その機会や場所・設備・資料・情報の提供が求められています。

さらに、ボランティア同士の連携を図り、図書館サービスに対する共通理解やそれぞれの活動に対する相互協力も必要となっています。

(注19) **アクティブ・シニア**：定年や子育てを終えたあとに、知識や経験を生かしてボランティアやサークル活動などを楽しむシニアのこと。

取組の方向性

- 新たなボランティアの育成と活動整備等の支援を強化します。
- ボランティア同士の連携を促すだけでなく、活動のレベルアップや促進のために、ニーズに応じて図書館職員が連携や支援を行います。

主な取組

- ★ 「図書館ボランティア養成講座」の内容の充実、参加者の拡大
- ★ 「図書館ボランティア連絡会議」の開催と継続

3 生涯学習活動の拠点として、集会文化活動に力を入れ、地域の力を高める図書館

(1) 様々な図書館行事を積極的に行い、地域の文化発展に貢献する図書館

課題

図書館は約50万点を超える資料を所蔵しており、生涯学習の拠点として、市民の教養、調査研究、知的娯楽等に資するとともに、その教育及び文化の発展に寄与することが求められています。市民のニーズに合った資料を使った展示コーナーの設置と運用により、図書館の利用促進を図る必要があります。

また、各行事の参加者を増やしていく方策と新しい図書館行事の開催と充実が求められています。

取組の方向性

- 季節に即した展示やイベントに関連する展示など、市民の興味やニーズに沿った展示コーナーの設置に努めます。
- 利用者の利便性向上を図るため、行事への参加申込に電子化を検討します。
- 行事への参加が少ない中・高・大学生に配慮した開催時期等の検討を行います。

主な取組

- ★ 図書館資料展示の内容充実
- ★ 新たな図書館行事の開催と充実(ビブリオバトル、ライぶらり等(注20))
- ★ 学習グループ等と協働した活動の推進

(注20) **ライぶらり**：参加者が図書館を散策し、面白そうと思った本を選び、なぜその本を選んだのかを短時間で紹介し合う、全員参加型の読書活動。山口県立山口図書館内に設置された山口県子ども読書支援センターにおいて2018年に考案。

(2) 生涯学習グループ活動を奨励し、その育成を図る図書館

課題

図書館は、数多くの生涯学習グループの活動拠点として活用されています。長年、継続して活動しているグループのメンバーの高齢化に伴う年齢構成の偏りが進む中、新たなメンバーの加入は、近年の共働き家庭の増加等の社会的な理由から、少なくなってきました。現在活動しているグループのイベントやその広報を通じて生涯学習の楽しさを広めることにより、新メンバー加入や新たな生涯学習活動への奨励につながる取組が必要です。

取組の方向性

- 図書館が、生涯学習グループ活動に資料を始めとして、機会と場所を提供していることを広く広報し、市民の強い関心を引く掲載方法の工夫に努めます。
- 新たに生涯学習を始める人やグループを奨励し、支援していきます。

主な取組

- ★ 生涯学習グループへの支援の強化
- ★ 新たな生涯学習グループ活動の奨励

4 地域の歴史や文化を大切にするとともに、国際理解を深めていく図書館

(1) 地域（郷土）資料を、積極的に収集・整理・保存・提供する図書館

課題

地域の特性を活かした郷土関係資料の刊行については、的確・迅速な情報をつかみ、早急に資料の収集をすることが非常に大切です。特に郷土出身の文学者、研究者、芸術家他の出版情報については、職員研修を実施し、情報共有を図りながら、資料の収集・整理・保存及び提供を強化する必要があります。

取組の方向性

- 山口県に関係する人物や事柄について、特に防府市に関するものは、市の図書館のコレクションとして保有することが望ましいため、正確な出版情報をつかみ、いち早く資料を収集します。
- 資料の的確な提供につながる所蔵資料の内容把握について、更なる職員研修に取り組みます。

主な取組

- ★ 地域の特性を反映した資料構成(コレクション)のための積極的な地域(郷土)資料の収集
- ★ 地域行政関係資料の積極的な収集・整備
- ★ 郷土出身者の著作物の積極的な収集・整備

(2) 地域(郷土)の歴史や文化に係る事業を積極的に行う図書館

課題

防府史料の刊行継続・電子書籍化のためには、防府の郷土資料についての職員の知識が必要で、郷土資料研究者や関連機関との連携が大切です。

また、防府図書館前身の三哲文庫創設者・上山満之進翁の事績を後世へ継承するため、関連資料の収集や展示、情報発信の必要があります。

取組の方向性

- 防府史料の刊行継続のために、郷土史や郷土文学に関する職員研修の強化に努めます。
- 上山満之進翁を顕彰した展示室の定期的な展示替えを行い、図書館見学者への案内など周知に取り組みます。

主な取組

- ★ 防府史料の刊行継続・電子書籍化のための、研究者との連携、史料の発掘、職員研修の強化
- ★ 上山満之進翁の顕彰と三哲文庫の事績の後世への継承

(3) 姉妹都市などの図書館との交流事業を推進し、国際理解を深めるための資料を積極的に収集・整理・保存・提供する図書館

課題

姉妹都市である韓国春川市立図書館との資料交換が相互理解を深める一助となるような取組が必要です。

また、利用者が国際感覚や国際文化の理解を深めるために、より一層の資料収集が望まれており、図書館職員の外国語や外国文化への造詣を深める必要があります。

取組の方向性

- 韓国春川市立図書館との交換図書を有効に活用した資料コーナーの整備と交

流の継続に努めます。

- グローバルな社会に対応する国際感覚や国際文化を理解するため、更なる関係資料の収集に努めます。

主な取組

- ★ 春川市立図書館との交流の継続と資料コーナーの整備
- ★ 外国語のサイン、図書館利用案内等の整備
- ★ 外国語の図書、新聞、雑誌、音楽資料、映像資料等の収集・提供
- ★ 日本語・日本文化学習のための資料、情報、機会等の提供

5 様々な教育文化施設とのネットワークを進め、サービスする図書館

(1) 学校や公民館との連携を深め、支援事業・協力事業を推進する図書館

課題

学校図書館に対する支援は、児童生徒の読書活動全般に影響のある司書教諭及び学校司書の資質向上と、学校図書館の活性化に非常に有意義なものです。そのため、図書館の資料だけでなく、様々な情報や司書としての技術の提供についても、積極的に取り組む必要があります。

また、図書館から職員を派遣して行うおはなし会やブックトークは、学校や公民館との連携を深めるための支援・協力事業として強く望まれています。

取組の方向性

- 学校図書館とのネットワーク・システムの有効活用による、更なる学校支援体制の推進を図ります。
- 学校や児童館、公民館等への団体貸出や、出前講座などの図書館サービスについて広く周知し、更なる支援・協力体制づくりに努めます。

主な取組

- ★ 学校図書館とのネットワーク・システムの活用(資料・情報の共有化)
- ★ 学校教育活動、学校図書館への支援(資料・情報の提供等)・連携・協力
- ★ 将来設置が検討されている学校図書館支援センターとの連携強化
- ★ 学校司書の研修の機会や場の提供
- ★ 学校、児童館等への団体貸出(貸出文庫)、出張サービス(出前講座など)の充実
- ★ 公民館との連携強化による地域文庫サービスの内容充実

(2) 他の図書館や博物館・美術館との相互協力を推進する図書館

課題

図書館は、利用者が求める資料や情報を提供するため、引き続き県内外の図書館との連携強化が必要不可欠です。

更に、他の社会教育施設等との連携における相互協力を強化し、図書館資料を最大限に生かせる活動が求められています。

取組の方向性

○県内外の図書館を始めとする関係諸機関と連携できるよう、郷土資料収集・保存協力体制を進め、他機関の状況などの情報の収集に努めます。

○MLA連携を図りながら、図書館内でも様々な企画や展示を催し、図書館サービスの向上に努めます。

主な取組

- ★ 資料相互貸借の推進と周知
- ★ レファレンス協力・関係諸機関の紹介業務の推進と周知
- ★ 文献複写送付サービスの推進と周知
- ★ 資料収集・保存協力体制の確立
- ★ 他機関との連携による企画展などの開催

6 子どもたちの読書活動を進めていく図書館

(1) 子ども読書活動推進を図るための研究と事業を、積極的に行う図書館

課題

図書館は、子どもたちの年齢に応じ、多様なニーズに対する資料・情報提供サービスの充実に努め、読書に支援が必要な子どもの利用環境を整備していく必要があります。

そのためには、図書館職員が日々の業務における研修だけでなく、山口県図書館協会や山口県子ども読書支援センターが実施する研修会などを積極的に活用し、より一層のスキルアップを図っていくことが必要です。

さらに「防府市図書館を使った調べる学習コンクール」への参加支援のための取組を継続して行う必要があります。

取組の方向性

○フロア・ワーク等を通して、子どもたちの読書ニーズや傾向を把握し、より豊

かな読書活動ができるように努めます。

- 職場体験や社会見学、「ビブリオバトル」や「ライぶらり」のような、子どもたちが図書館に親しめる行事や企画を充実させます。
- 子どもたちの「読みたい・知りたい・学びたい」を支援することができる職員の育成に努めます。

主な取組

- ★ 「第3次防府市子ども読書活動推進計画」中の市立図書館取組項目の推進
- ★ 市の関係部署等行政機関との連携強化
- ★ 「防府市図書館を使った調べる学習コンクール」の実施
- ★ 児童サービス向上のための職員研修の強化

(2) 子ども読書活動推進のためのボランティア活動を奨励し、その育成を図る図書館

課題

「ボランティア養成講座」の受講者が、次世代を担うボランティアとして、子どもたちの読書活動を進めていくための行事に、参加・活動ができるような環境支援が望まれています。

取組の方向性

- 「図書館ボランティア講座」は、幅広いニーズに対応できる内容にします。
- ボランティアの主催する行事や研修会を支援し、協働事業の推進を図ります。

主な取組

- ★ 「図書館ボランティア養成講座」の内容の充実
- ★ 子どもの読書活動に係る図書館ボランティアへの支援強化

7 障害者や高齢者に優しい図書館

(1) 障害者や高齢者が、気軽に楽しく簡単に利用できる図書館

課題

障害者や高齢者が気軽に図書館を利用できるように、今後も点字図書、大活字本、触る絵本や視聴覚資料等、多様な図書館資料を収集・整備し、提供することが必要です。

また、障害のある人の図書館利用を支援するため、行政機関の担当部署とも連携を取りながら、図書福祉機器の配置についての更なる周知が必要です。

さらに、図書館へ来館が困難な利用者に対して、インターネットでの利用申込を受付し、郵送貸出サービス、電子書籍を含むオンライン配信等のサービスを検討するなど、視覚障害者が利用しやすい書籍等の充実、円滑な利用のための支援及び体制の整備が望まれています。

取組の方向性

- 点字図書、大活字本、触る絵本や視聴覚資料等、多様な図書館資料の収集・整備・充実に努めます。
- 図書福祉機器の配置についての広報と利用促進に努めます。
- 障害者等の読書環境の整備に努めます。
- 高齢者向けのイベントなどを開催し、図書館で生きがいや喜びを見いだせるサービス環境の整備に努めます。

主な取組

- ★ 点字図書、大活字本、各種視聴覚資料、布絵本、拡大読書器、拡大鏡等の整備・充実と利用の促進
- ★ 行政機関の広報担当部署、障害者高齢者サービス担当部署、点字図書館、社会福祉協議会等との連携協力による情報発信の強化
- ★ 手話によるサービス、筆談によるサービスの推進
- ★ 障害者用郵送貸出サービスの周知と推進
- ★ 高齢者を対象にした新講座・イベントの開設
- ★ 高齢者・障害者施設への団体貸出の広報

(2) 視覚障害者や高齢者のための対面朗読、音訳図書製作、郵送貸出などのサービスを、積極的に行う図書館

課題

音訳・点訳ボランティア等と連携協力し、資料や情報の音訳版・点訳版の作成を促進して、視聴覚障害者や高齢者のための整備を進める必要があります。

また、障害者や高齢者サービスに係る研修等には積極的に参加することが重要です。

取組の方向性

- ボランティア等との連携協力を促進します。
- 視覚障害者用郵送貸出サービス等の周知と利用拡大への取組を進めます。

主な取組

- ★ ボランティア等と連携協力した点訳資料、音訳資料、布絵本等の製作
- ★ 対面朗読、視覚障害者用郵送貸出等のサービスの周知と推進

(3) 障害のある利用者のためのボランティア活動を奨励し、その育成を図る図書館

課題

図書館は、場所・設備・資料・情報等の提供などを通じて、障害のある利用者のためのボランティア活動をしている団体への支援を強化する必要があります。

取組の方向性

- 障害のある利用者のためのボランティア活動をしている団体への更なる支援に取り組めます。

主な取組

- ★ ボランティア活動への支援強化（機会・場所・設備・資料・情報の提供などの活動支援強化）